

もくせいにし

平成 22 年 3 月

秦野南が丘ウェルシー自治会会報

平成 21 年度活動を振り返って

主なイベントの思い出



平成 21 年 7 月 子ども神輿



平成 21 年 7 月 納涼大会



平成 21 年 8 月 防災訓練



平成 21 年 9 月 市内一斉清掃



平成 21 年 9 月 敬老会



平成 21 年 1 0 月 芋掘り大会



平成 22 年 1 月 餅つき大会



豚汁作り



餅作り



つきたての餅をどうぞ

自治会長

自治会の皆様のご協力と各部役員の方々のご支援を頂き自治会長の大役を務めることができました。意あれど力不足で至らぬこと多々ありますが心よりお礼申し上げます。

諸行事を通じて現役時に体験出来ない様々な方々との交流による感動と多くのことを学び得ました。不慣れな会長職でしたがお陰様で無事に過ごした一年でした。皆様方のご支援の賜物と改めて感謝とお礼を申し上げます。

特に、各役員の方々には「当たり前を非凡に成し遂げる」の心意気を発揮していただき一つ一つの行事にその精神と思いを注いで頂きましたことは、結果はともかく来期につながる財産になったと思います。

一年を振り返ってみると、防災・防犯等の講習会、防災設備の点検管理、マニュアルの見直し等大変な努力と苦労のもとに達成できました。

催しである納涼祭、芋掘り大会、餅つき大会、クリスマスイルミネーションの設置等文化体育部はもとより各役員の方々一丸となつての協力により年間行事が実のある成果が達成できました。また、何かにつけ管理組合及び部会の方々からの支援・ご協力に心からお礼申し上げます。

積み残しや、継続課題としたこともありますが、次年度は各行事を通じて参加者の増大、動員の拡大に努めて頂き、どこかの党首が言った「みんなでやろうぜ!!」が当自治会の実績と合言葉になるよう心から願い退任の挨拶といたします。ありがとうございました。

鈴木 淳三

副会長

順送りで役員を引き受け、ようよう一年経ちました。正直ほっとしております。最初は番館の場所も分からず、外部組織の名前も働きもうろ覚えで迷惑のかけっぱなし。会長のリーダーシップと役員の皆様におすがりし、ただただ、うろうろと時を過ごしてまいりました。

私が自治会に貢献できたことはただ一つ、納涼祭・芋掘り大会・餅つき大会すべて快晴。晴れ男の面目を発揮できたことです。子供たちの笑顔が忘れられません。

皆様のご協力と、自治会を継続されてきた諸先輩に大感謝し、次期につなげます。

井川 久木原

総務部

昨年4月の総会から役員を引き継いであつという間の一年でした。その間恒例となっている各行事は現役員の皆さんの多大なる努力で滞りなく実施出来ましたが、まだまだやり残した課題は多いと思っています。

昨年の総会で「防災対策の強化」と「高齢者への対応」について皆様からご意見をいただきました。いろいろなお考えで自治会に入会頂いていない居住者がいらっしゃいますが、防災体制を強化するためにはその母体となる自治会に居住者の皆さん全員が関わっていただくことが大前提となります。また、「高齢化」に関しても、昨秋初めて「敬老会」を自治会主催にするなど若干の前進はありましたが、まだまだできることはあると思います。残りの任期のなかでそれらの策を検討し、必要なものは予算化し、次の役員の皆さんへ引き継いでいきたいと考えています。

これからも自治会の活動にご協力くださるようよろしくお願いいたします。

森田 宇都

財務部

今年度自治会役員として各種行事を行う中で一年が過ぎようとしています。担当した財務部では、自治会費の管理、行事の都度必要となる多額なお金の管理及び役員の活動に伴う経費の管理を行ってきました。

皆様のご協力のもと、無事役目を果たし次年度の役員に引き継ぐことができそうです。

また、各役員とともに夏の納涼大会、秋の芋掘り大会、冬の餅つき大会等の行事を運営し、大変ではありましたが自治会員の皆様には喜んで頂けたのではないかと思います。

それぞれの行事を通じ会員の皆様や役員の皆様と親睦を深めることができ、有意義な一年とすることができました。

五十嵐 大瀧

厚生部

厚生部の役員として、不安の中でスタートしたわけですが何とか無事に任期満了を迎えられそうです。

募金活動、慶弔、敬老活動をするなかで、今年から敬老会を自治会主催行事とし、ウェルシークラブの皆さんとも心温まる交流をさせていただきました。

一年間のご協力誠にありがとうございました。今後のお力添えをよろしくお願いいたします。

岩沢 近藤

防犯防災部

関東大震災や神戸・淡路大震災クラスの大地震は、いつ発生してもおかしくない状況にあるといわれていますが、いつどのような状況で発生するか予測が困難なところに対策の難しさがあります。

いつ発生しても被害を最小限にしていくためには、一人一人の備えと、いざという時に落ちいて適切な行動ができるように、日頃から心構えを身に付けておくことが大切です。災害に強く、安全で安心して暮らせる地域づくりは各自治会においても重要な課題となっています。そのような状況の中で、今年度は、行政機関が開催する会議、訓練への役員の参加のほか、皆さんの参加を頂き、防災訓練や救命救急、防災の各講習会を開催しました。

また、ウエルシー防災会の防災マニュアルの見直しや大地震が発生した際、各家庭の安否確認をスムーズに行うため「安否確認シート」の製作などの取り組みを行いました。

防犯については、各部役員が交代で防犯パトロールを行ったほか、新たに防犯講習会を開催しました。

防犯防災部の活動には、皆さんの支援とご協力が不可欠です。来年度も各種訓練や講習会へ参加して頂くなど一層のご支援とご協力を宜しくお願いいたします。

森田 松本(修) 菊池 松本(美幸)

保健衛生部

保健衛生部では、自治会主催の年2回の一斉清掃、年4回の廃棄物減量等推進活動の定期連絡票の提出、ゴミ減量化等の活動をおこないました。

一斉清掃では、役員の皆様、会員の皆様のご協力のおかげをもちましてスムーズに良くできたと思います。一年間ありがとうございました。

伊藤 白井

文化体育部

文体部の活動は、恒例の南が丘地区合同納涼大会、芋ほり大会、新年餅つき大会の他、新たにクリスマス会を実施しました。特にクリスマスイルミネーション設置には、管理組合、DIYクラブの皆さんに大きな支援、ご協力を戴き達成できたこと、深く感謝しています。芋ほり大会では焼き芋の試食会、餅つき大会にはお楽しみ抽選会をトライアルで実施し大変好評でした。文体活動はイベント部隊に終わらず、自治会や管理組合の理念である、豊かな心の通い合う地域づくりのためのコミュニケーションの形成だと思えます。将来の夢を語り合え、より良い住居環境に取り組む思いがある多くの方々がこのマンションにいらっしゃることが、本当に良かったと感謝しています。最後に、今年度の自治会役員には、新たな提案にも快く快諾、行事を実施していただきました事に、あらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。また、行事でお会いしましょう。

堂田 阿部 加藤 瀬戸

広報部

二回目の自治会役員の順番が回ってきた。本当はもう後期高齢者になるんだからパスさせてもらいたかった。しかし、町内会への参加は住民の義務だろうし、老人の社会とのつながりの一番身近なところだし、まあ、自分で出来る範囲でやろうと思った。ところが引き継ぎの定期総会で自治会はもっと、高齢者対策などしっかりやれとのきつい注文があった。

「役員皆が一年間、勤めながら、主婦業をやりながら、リタイア組は力仕事を何回も本当に良く活動したよ」「盛りだくさんの年間催事も担当部はあっても、力仕事は役員が全員参加して本当によくやったよ」そこで、広報部の仕事は「自治会の催事に一人でも多く参加したい」と思わせること。残念、役員皆さんの労に応える参加は得られませんでした。マンション住まいの気安さとコミュニティとの壁か。「風通しをよくするのが広報でしょう」「はい、努力不足でした。」

*自治会広報誌発行 2 回 (回覧・戸別配布) *回覧/配布 18 回

*件数 100 余件 *夜警・巡回 10 回 *雑務 会長呼出し 10 数回

鈴木 望月

ウェルシークラブ会長

当団地の第一期入居が始まった平成 3 年 4 月から、来年で 20 年になります。

このことから平成 23 年度を「20 周年記念行事の年」として、管理組合、自治会、ウェルシークラブその他、当団地の諸団体が一緒になってアイデアを出し合い 20 周年にふさわしい幾つかのイベントを計画すべく準備が始まろうとしています。この中には、20 年～30 年先を見据えて、安全で暮らしやすく住みよい団地にしていく為にはどうあるべきかの検討も含まると聞き及んでいます。

20 年～30 年先といえば、現在 40 歳の人も 60～70 歳になるわけで、確実に高齢化の波にさらされます。人は過去のことは経験として具体的に思い出すことは出来ませんが、未来のことになると想像の範囲を超え、まして自分が歳をとり、老人となったときの生活など想像出来るものではありません。ウェルシークラブは老人のクラブです。我々の知恵が皆さんの役にたつとすれば、それは、若い元気な時から現在に至るまで次第に歳をとってきた過程を全て経験として知っているからです。歳をとるといふことはどういうことか、体力はどのように衰えてきたか、老人には何が必要か、若い人は 20～30 年さきにどうなるか、我々は知っています。

誕生 20 年、これを機にこの先団地内の環境改善、より住みよい団地にするためにはどのようにすべきかを考える必要があるのではないのでしょうか。

瀬川 澄男

* 管理組合のホームページにも自治会広報を掲載していますのでご覧ください。

<http://www.wealthy333.jp/>